



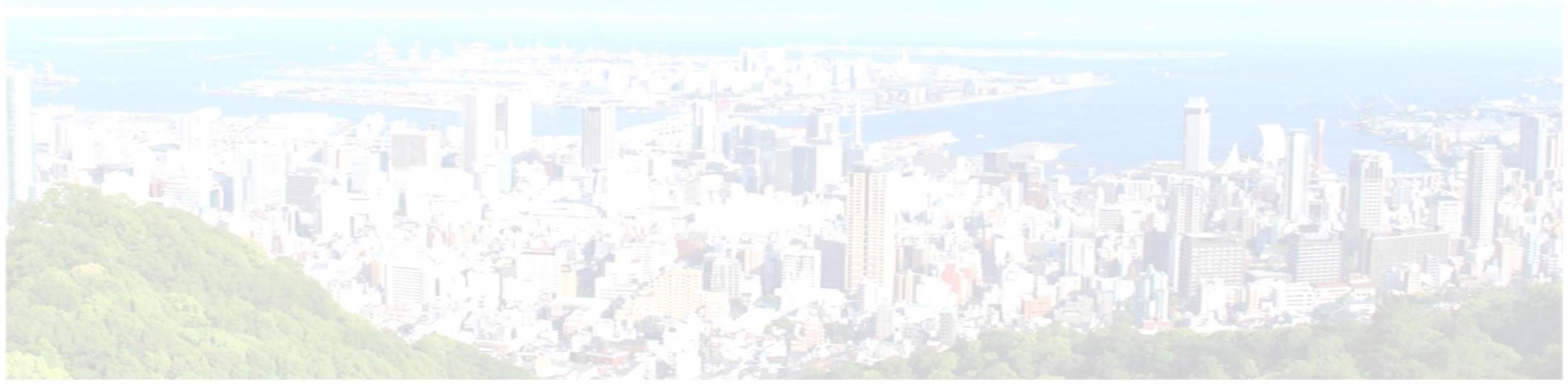
KOBEスマートシティ推進コンソーシアム 設立について

Human×Smart City KOBE

～ 海と山が育み、人間中心の未来を共創していくスマートシティ ～

令和4年3月10日

**はじめに
(神戸市がスマートシティを推進する目的)**



スマートシティを目指す意義（なぜスマートシティを目指すのか）

地域の課題解決



デジタルを活用し、
多様な地域課題をスピード感を持って解決

地域コミュニティの再構築



様々な主体がデジタルで繋がり
市民・企業・行政の共創によるまちづくり

① 多様な地域、社会課題の解決

人口減少や少子高齢化の急速な進展にともなう地域課題、大規模災害や新型コロナウイルス感染症など様々な社会課題に直面する中で、**データやデジタル技術の活用を通じた解決**を図っていく。

② 市民の生活の質の向上

グローバル化や新型コロナ危機を契機とした人々の生活様式の大きな変容による「働き方」、「暮らし方」の**意識や価値観の多様化へ対応した市民生活の質の向上**を図っていく。

③ 神戸の強みの発揮

豊かな自然環境、国際性や多様性といった神戸の強みを磨き、活かし、**神戸のまちの力である「人に優しく、人を大切にする」という気風を大事にしながら、市民と行政、事業者による共創のまちづくりを推進**していく。

スマートシティ推進に関する基本方針

市民中心

市民、企業、行政が**当事者として共創**していく。デジタル化、データ利活用、テクノロジーの実装はあくまでも手段であり、**市民起点**で取り組む。

課題解決

地域の**リアルなニーズ**に則した課題を解決するサービスを展開していく。環境変化に即応する為、**トライ&エラー**を繰り返しながら、**スモールスタート**でモデルを構築していく。

プライバシー

データは市民のものであり、データの流通、利活用は**利用者同意**を徹底し、信頼関係構築に向け、**透明性の確保**や個人情報、プライバシーの保護に配慮して取り組む。

生活圏

市民の**生活圏**、**コミュニティ**をベースに地域特性に応じたサービスをデザイン、再構築していく。

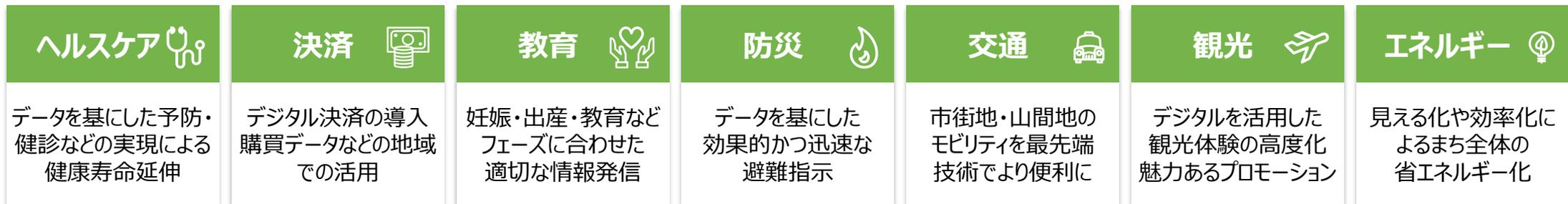
持続可能性

サービス、事業の展開に際しては、運用面、財政面の両面から**持続可能性の担保**を心がける。



KOBEスマートシティの将来像

市民・観光客・企業



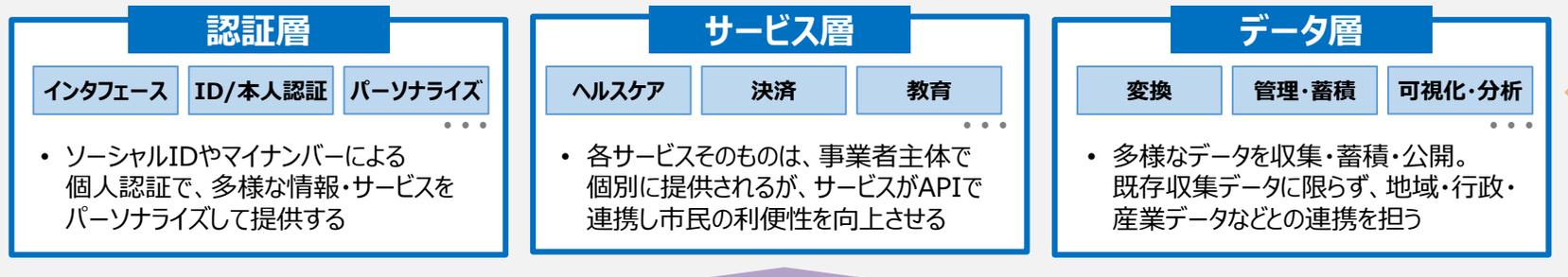
スマートこうべ etc

企業

- サービス開発
- オフィス開設



データ連携基盤



神戸市

- EBPMの推進 (エビデンスに基づく政策立案)
- 業務効率化

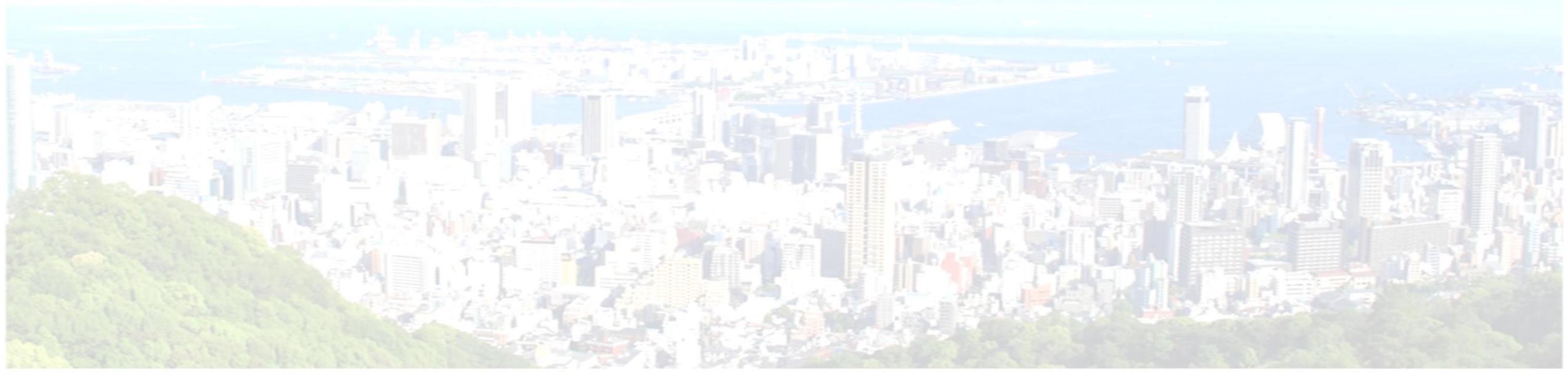
ネットワーク(5G/IoT)



都市間連携



KOBEスマートシティ推進コンソーシアム



KOBEスマートシティ推進コンソーシアム 概要

設立目的

市民・企業・行政・研究機関など様々な方々が参加し、市民が安心してデータを提供できる体制を整え、共創の場を通じて合意形成を図り、本市スマートシティにかかる様々なプロジェクトを推進していくための実行力を強化するため

主たる事業

- (1) スマートシティの実現に向けた実証事業及び実装の推進
- (2) スマートシティポータルサイト（スマートこうべ）・データ連携基盤の活用推進
- (3) 実証事業への住民参画の促進
- (4) 前各号に附帯又は関連する事業

会員対象

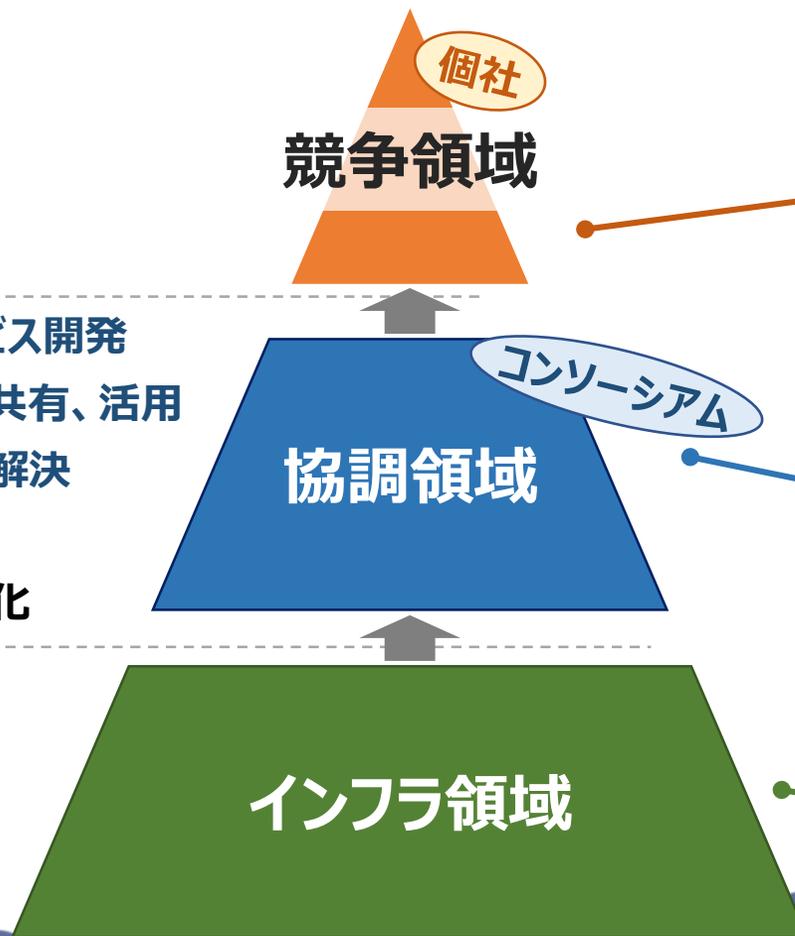
神戸市のスマートシティ推進に関する考え方、本コンソーシアムの趣旨に賛同し、神戸市内においてデジタル・スマートシティの実現に向けて主体的に取り組む意欲のある事業者や団体、金融機関、大学等研究機関、行政機関等

KOBEスマートシティ推進コンソーシアム参画企業・団体との協調イメージ

神戸市全体の産業・経済発展を実現し、市民生活の質を向上していくために、コンソ参画企業間の協調領域を定義し、コンソーシアムが整備するインフラ領域の基盤・データを活用しながら連携を推進していく。

協調のイメージ

- 各社が提供するサービス、製品の開発
 - 各社の有する独自の知財、ノウハウ、データ
 - ポータルを通じて蓄積したデータの2次利用
-
- 実証実験として取り組むスマートシティサービス開発
 - 市民のオプトインを通じて蓄積したデータの共有、活用
 - IoTプラットフォームを活用した地域課題の解決
 - 神戸市スマートシティの広報・市民との対話
 - 地域活性化に資するアイデアの創出、具現化
-
- スマートこうべ（仮称）の構築、運営
 - ログインID（顧客）の管理
 - データ連携基盤の運営



基本原則

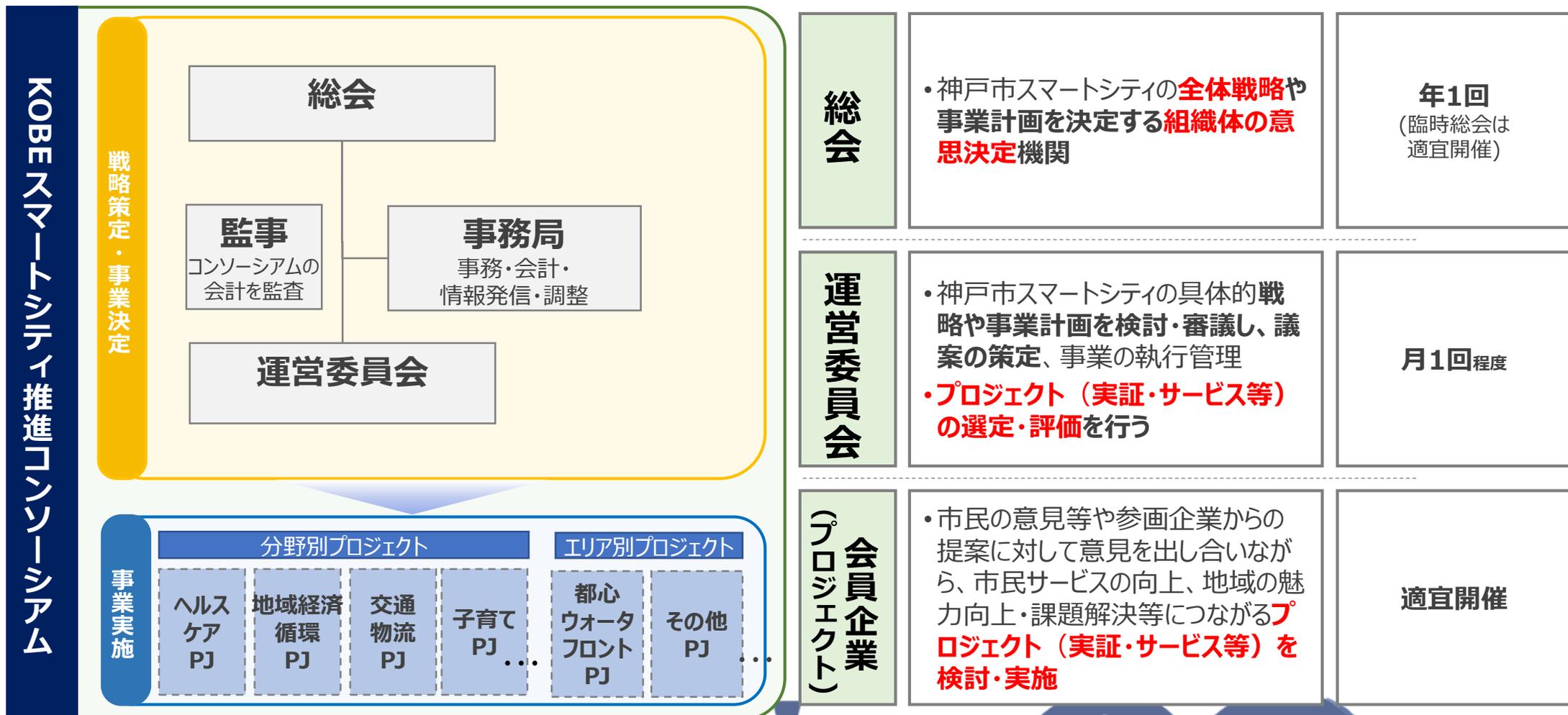
インフラ・協調領域のデータや成果を活用して
個社の事業を推進

コンソーシアム参画企業が
連携して実施

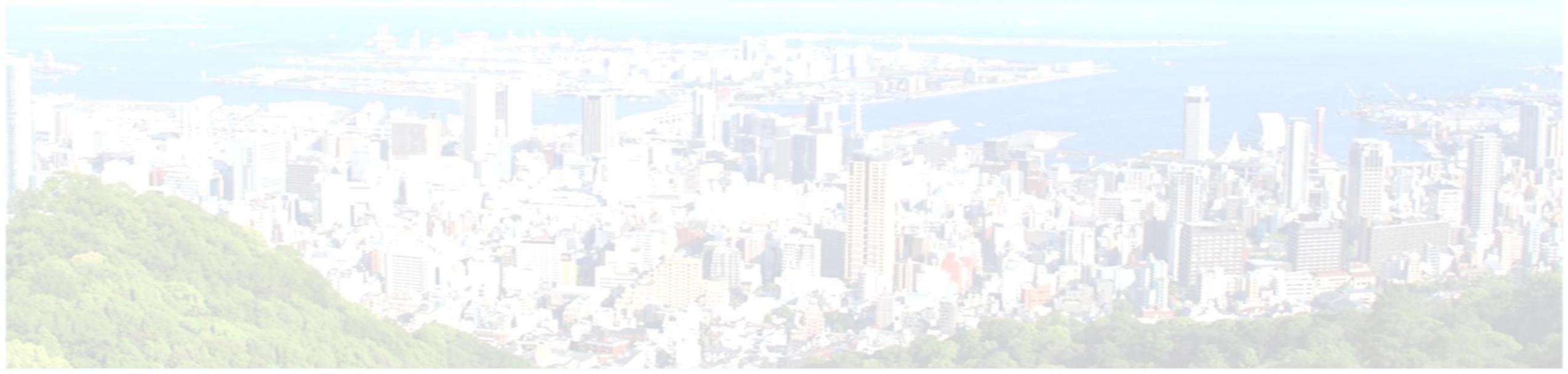
データ連携基盤や
ログイン管理などを
コンソーシアムが基盤として運営

KOBEスマートシティ推進コンソーシアムの体制

KOBEスマートシティ推進コンソーシアム 組織体イメージ



プロジェクトの取組み



スマートシティ推進プロジェクトのイメージ（分野・エリア）

コンソーシアムにて「プロジェクト」を組成しスマートシティサービスの実証・実装を推進。プロジェクトについては、取組む「分野」×「エリア」を決めて組成していくこととしたい。また、プロジェクト実行時(実証/サービス提供等)には、市民向けポータルサイト「スマートこうべ」との連携等による効率化なPR/ユーザ獲得等を図っていく。

プロジェクト

分野

会員企業の強みを活かしたサービスや会員間のシナジーにより、新たなデジタルサービス、ビジネスモデルの構築を目指す

ヘルスケア

地域経済循環

子育て・教育

市民価値創造

防災・見守り

交通・物流



エリア

エリアにおける魅力の向上やそこに住まう市民の抱える課題や問題点を基軸として、市民生活の質及び生活利便性の向上を目指す

都心ウォータフロント

市街地

農村



スマート
こうべ

行政情報・サービス

地域情報・地域イベント

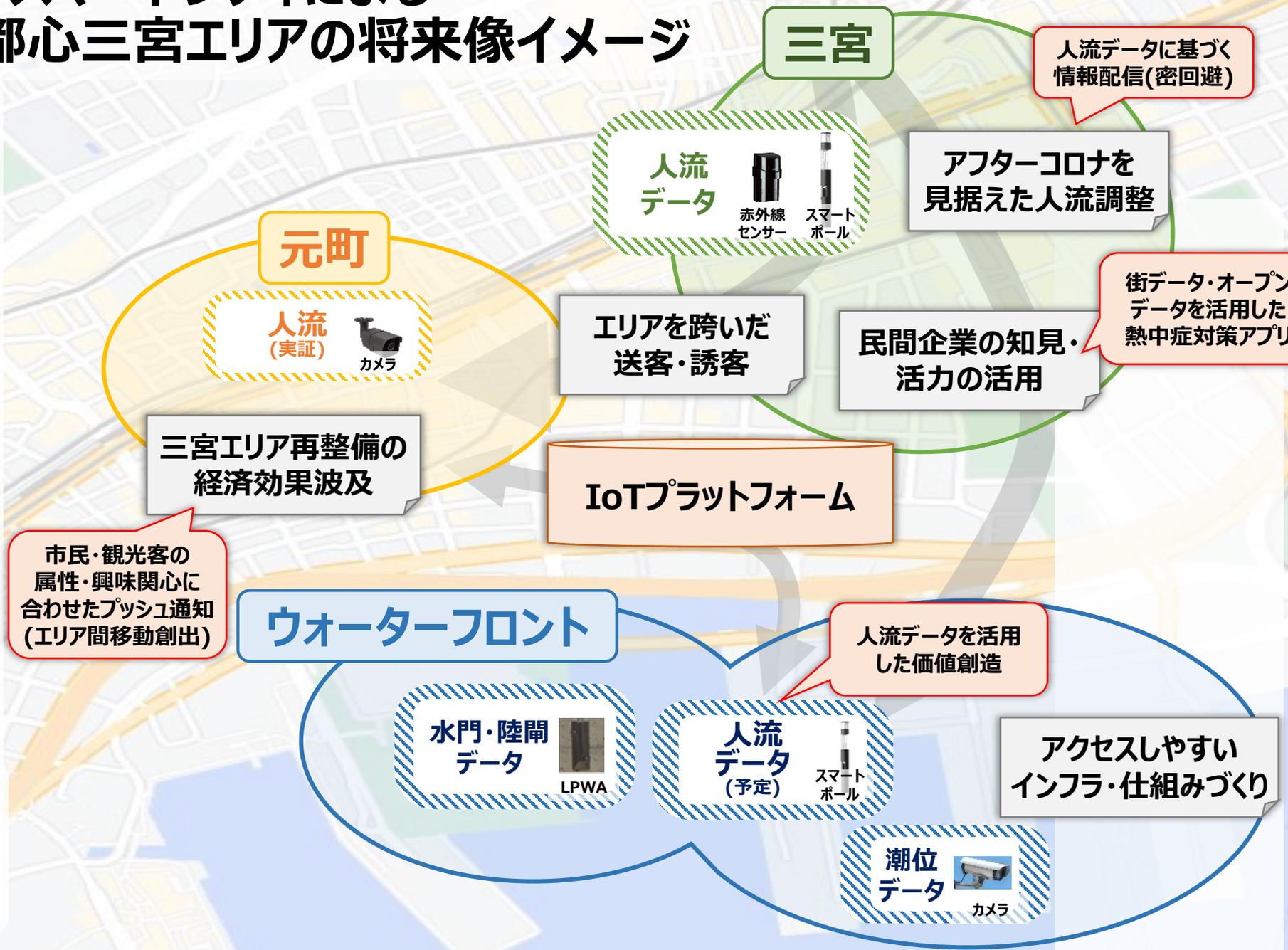
民間情報・サービス

ユーザー属性や興味関心に応じて、行政・民間のサービス・情報をワンストップで提供。
ユーザー情報の蓄積・分析により、サービス向上に向けた産官学民による共創を促進する

(参考) スマートシティによる 都心三宮エリアの将来像イメージ

- 神戸ポートミュージアム - 2021 -
- チョコレートミュージアム - 2021 -
- 水族館(átoa) - 2021 -
- 神戸アリーナ - 2024 -
- ポートタワーリニューアル - 2023 -

- 神戸三宮阪急ビル - 2021 -
- アンカー神戸 - 2021 -
- こども本の森 神戸 - 2022 -
- 三宮クロススクエア - 2025 -
- スカイライブラリー - 2025 -
- 第2庁舎再整備 - 2027 -



An aerial photograph of a city, likely Tokyo, showing a dense urban landscape with numerous skyscrapers and a large bay area. The image is overlaid with a semi-transparent light blue filter. The text is centered in the upper half of the image.

スマートこうべ
(スマートシティポータルサイト・データ連携基盤)

2022年3月28日開設

スマートシティポータルサイト

スマートこうべ

自分に合った
情報が届く!

- コンテンツ -



地域情報



イベント情報

便利なサービス
が登場!

- マイサービス -



保育施設検索



おでかけ



ごみ出し



便利な

ソーシャルログイン



スマートシティポータルサイト「スマートこうべ」概要

情報配信

個人の属性・興味関心にぴったりの情報が届く

会員情報として登録した、【年齢や家族情報などの“属性”】【興味のあるカテゴリなどの“興味関心”】の情報に基づいて、一人ひとりにあった“おすすめ情報”を判定してお届け。

プッシュ型でお知らせ



- 特定の層にぜひ知ってもらいたい情報をプッシュ型でお知らせ
- ポータルサイト上のお知らせ機能画面またはメールにて、おすすめ情報が届いたことを通知

おすすめ情報をピックアップして表示



- ポータルサイトの情報発信欄の中に、「PICK UP」欄を設置
- 「PICK UP」欄を確認することで、自分にあったおすすめ情報を効率的に知ることができる

スマートシティポータルサイト「スマートこうべ」概要

便利なサービスの提供

多種多様なニーズをかなえるサービスのなかから、自分好みのサービスを選べる

おでかけ情報



施設やイベント情報から
おすすめのおでかけ先
をレコメンド

ごみ出し情報



居住地のごみ出し
スケジュール
わかりやすく表示

保育施設 空き状況検索



保育施設の空き状況
を分かりやすく
検索できる

お役立ち情報



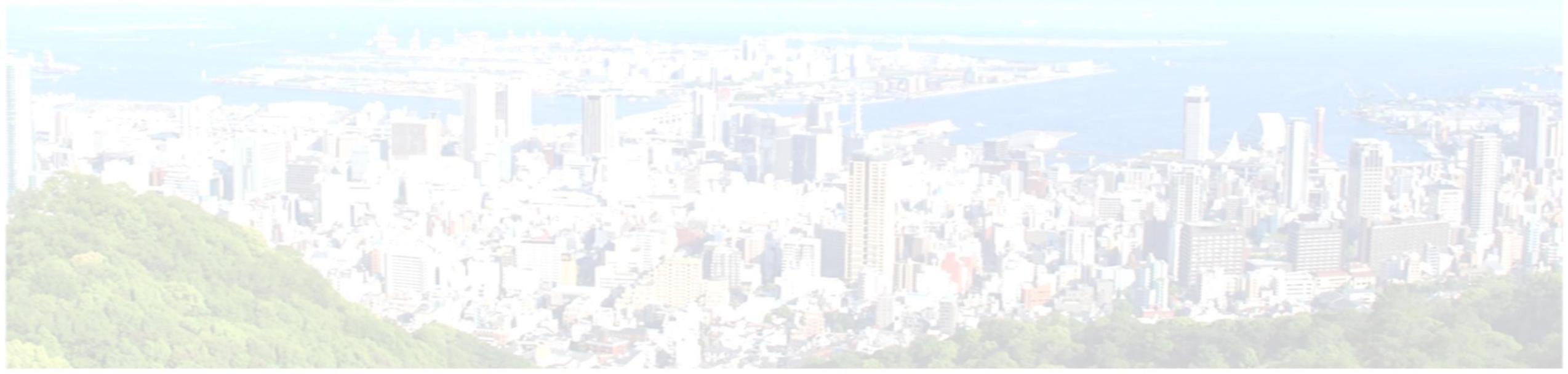
神戸市が提供する
市民向けサービスを
一覧で表示

設定



自分が使う
サービス
を選択できる

今後の予定



2030年頃までのロードマップ

まずは大阪・関西万博が開催される2025年4月をマイルストーンとして、神戸のスマートシティ推進の取り組みを加速させる。21年度は推進の基礎を固めつつ、22年度より市民にとって役立つスマートシティサービスをスピード感を持って提供を目指す。市民・企業・行政などの多様なステークホルダーとスマートシティの在り方を共に考え、2030年度（※）を見据え柔軟性をもって産学官民で共創していく。



KOBE 
UNESCO City of Design

